

施策を構成する事業評価

No.	39	担当課	環境推進課
-----	----	-----	-------

1. 施策名

基本目標	4	快適な環境で安心して暮らせるまち【防災・環境・社会資本整備】
政策名	4	豊かな自然や住みよい環境を未来へつなぐまちづくり
施策名	1	地球温暖化対策・自然環境の保全を推進します

2. 重点事業

事業名(中分類)	なし		予算事業番号 (予算事業名)									
事業指標	現状値 (H27(2015))	実績値									目標値 37年度	達成 状況(%)
		29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	35年度	36年度	37年度		
事業概要												
取組内容・結果等(D)												
課題・問題点等(C)												
今後の方向性(A)												

3. 基本事業

事業名(中分類)	新エネルギー利用促進事業	予算事業番号 (予算事業名)	4.1.9.104029(地球温暖化対策費)
事業概要	地球温暖化対策を推進するため、化石燃料に代わるクリーンな新エネルギーの導入促進を図るため、自然エネルギーである太陽光発電システム等の設置補助を実施する。		
取組内容・結果等(D)	自然エネルギー利用促進補助事業により、市内に居住する方で太陽光発電システム、太陽光熱温水器、ソーラーシステム、家庭用リチウムイオン蓄電池を設置する方に対して補助を行う。 平成30年度実績は、太陽光発電システム63件、太陽熱温水器2件、ソーラーシステム7件、家庭用リチウムイオン蓄電池28件に対して補助を交付した。		
課題・問題点等(C)	市の環境基本計画では、太陽光エネルギーの導入促進として太陽光発電システムの設置件数を平成31年度に2,600件としている。なお、毎年度200件余の設置件数の増加実績となっている。		
今後の方向性(A)	災害発生時に有効である家庭用リチウム蓄電池の設置需要が増加すると考えられる。引き続き再生可能エネルギーの利用を促進するために、市広報やホームページへの掲載やチラシの作成を検討する。		

事業名(中分類)	エコアクション21推進事業	予算事業番号 (予算事業名)	4.1.9.102006(エコアクション21推進費)
事業概要	平成23年7月から二酸化炭素や資源の排出削減や省エネルギーの取り組みをより効果的・効率的に進めるため、環境省が推奨している「エコアクション21」の認証登録制度の方法を取り入れ、全職員が省エネ・省資源の環境に配慮した行動に取り組んでいき、持続可能な社会の実現を図っていく。		
取組内容・結果等(D)	・各課職員への周知を図るため、各課から選出された環境推進員に対してエコアクション21「エコリーダー研修会」を4月19日に開催し、事業説明と併せ各種調書の作成について説明を行った。 ・中間審査を10月24日～10月26日において実施し、本庁及び北館、その他関連施設での認証登録の継続を維持した。		
課題・問題点等(C)	エコアクション21認証登録については段階的に対象施設を拡大している。令和元年度の更新では消防本部・消防署の認証登録施設を拡大する計画になっていることから、計画どおり認証登録が取得できるよう引き続き取り組みを進める必要がある。		
今後の方向性(A)	エコアクション21の拡大対象施設として、令和3年に市内各地区センターを予定しているため、研修会等を開催して新規登録取得を目指す。		

事業管理シート(施策)

基本目標	4	快適な環境で安心して暮らせるまち【防災・環境・社会資本整備】
政策名	4	豊かな自然や住みよい環境を未来へつなぐまちづくり
施策名	1	地球温暖化対策・自然環境の保全を推進します

事業名(中分類)	地球温暖化対策教育学習事業	予算事業番号 (予算事業名)	4.1.9.104029(地球温暖化対策費) 4.1.9.104854(環境衛生総務費)
事業概要	小学生等を対象とする地球温暖化防止の啓発事業を行い、環境問題への関心を高める。		
取組内容・結果等(D)	地球温暖化をテーマとする総合学習の一環として、静岡県地球温暖化防止活動推進センターと連携してアスキッズ事業を六郷小学校(4年生76名)、横地小学校(4年生18名)、内田小学校(4年生36名)で実施し、子ども達がエコリーダーとなって家庭におけるエコ生活に取り組んだ。また、節電・省エネ・ごみ減量など、気軽に取り組みができる項目についてチェックするエコチャレンジチェックシートを市内小学校にて実施した。		
課題・問題点等(C)	市、静岡県地球温暖化防止活動センター、学校が連携して事業を進めていることから日程や当日のスケジュール等、連携を取りながら進めていく必要がある。		
今後の方向性(A)	引き続き静岡県地球温暖化防止活動センターと連携し、アスキッズ等の各種事業を実施し、家庭におけるエコ生活に取り組むなどの地球やさしい生活の知恵を身に付け、地球温暖化防止を図っていく。		

施策を構成する事業評価

No.	39	担当課	環境推進課
-----	----	-----	-------

1. 施策名

基本目標	4	快適な環境で安心して暮らせるまち【防災・環境・社会資本整備】
政策名	4	豊かな自然や住みよい環境を未来へつなぐまちづくり
施策名	2	水質浄化・生活環境の改善を進めます

2. 重点事業

事業名(中分類)	なし		予算事業番号 (予算事業名)									
事業指標	現状値 (H27(2015))	実績値									目標値 37年度	達成 状況(%)
		29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	35年度	36年度	37年度		
事業概要												
取組内容・結果等(D)												
課題・問題点等(C)												
今後の方向性(A)												

3. 基本事業

事業名(中分類)	公害対策推進事業	予算事業番号 (予算事業名)	4.1.10.104034(公害対策推進費)
事業概要	健康で安全な暮らしの環境の維持に向けて、苦情に対する指導及び広報紙やホームページにおける啓発と併せて市内主要河川の水質浄化の状況等を把握する河川水質調査や騒音規制法第18条にもとづく市内主要幹線道路における自動車騒音の状況について常時監視を行い環境省へ報告する。		
取組内容・結果等(D)	<ul style="list-style-type: none"> 市内の主要河川の水質浄化の状況等を把握するため、定点水質検査(46地点)を年4回実施し、水質測定結果を市ホームページと併せて菊川文庫及び小笠図書館における行政資料として公表した。また、小沢地内における肥料工場の排水影響を調査するため、下流河川の検査を年4回実施し、水質監視を行った。 市内における主要幹線道路である吉田大東線及び県道掛川浜岡線の12.1km区間を対象に自動車騒音の状況について調査を実施した。 野焼き等による悪臭の苦情や河川等への油漏れ事故等に対して、迅速に現地確認や対応を行い、原因者への指導等適切に実施した。 		
課題・問題点等(C)	市内の区画整理事業等により農地が住宅化し、住宅地付近の田畑で野焼きによる苦情等が発生している。		
今後の方向性(A)	市内主要河川の定点水質検査や騒音規制法に基づく市内幹線道路における自動車騒音の状況について常時監視を引き続き実施する。野焼きによる苦情や油漏れ事故等の対応については、引き続き迅速に対応し、原因者への指導等を適切に行っていく。また、環境だより等で廃棄物の野焼き禁止について、市民への周知を行う。		

事業名(中分類)	水環境教育学習事業	予算事業番号 (予算事業名)	4.1.9.104854(環境衛生総務費)
事業概要	市内の河川の生物を採取し、その種類を調査することで川の水のきれいさを調べる水生生物調査や水への思いやりや水の大切さを啓発するため、水の出前教室を実施し、環境への意識の向上を図る。		
取組内容・結果等(D)	水生生物調査を菊川、西方川、高橋川の各河川において、横地小学校(18名)、加茂小学校(84名)、小笠南小学校(27名)、消費者の会(4名)、アエルこどもサマーフェスティバル(7名)、奥横地こどもクラブ(20名)で実施した。		
課題・問題点等(C)	水生生物調査については、夏季の時期に集中して実施するため、台風後の河川の増水等で実施できない場合があり、実施スケジュールに苦慮することがある。		
今後の方向性(A)	今後も引き続き水生生物調査を実施し、水環境への意識向上を図る。		

施策を構成する事業評価

No.	39	担当課	環境推進課
-----	----	-----	-------

1. 施策名

基本目標	4	快適な環境で安心して暮らせるまち【防災・環境・社会資本整備】
政策名	4	豊かな自然や住みよい環境を未来へつなぐまちづくり
施策名	3	循環型社会の推進を図ります

2. 重点事業

事業名(中分類)	リサイクル活動推進事業		予算事業番号 (予算事業名)	4.1.9.104023(分別収集奨励費)									
事業指標	資源化率	現状値 (H26(2014))	実績値									目標値 37年度	達成 状況(%)
		26.5%	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	35年度	36年度	37年度	29.4%	
事業概要	資源を有効に利用する循環型のまちをを目指し市民・事業者・行政が一体となって3Rを総合的に進めるなか、リサイクル活動を推進している。												
取組内容・結果等(D)	<ul style="list-style-type: none"> 資源物地区(ステーション)回収を年間を通じて実施した。また、資源物拠点回収を実施し、古紙(314t)、衣類(82t)、小型家電(10t)等を回収した。 生ごみ処理機購入補助金(24件)、古紙等資源集団回収奨励金(366t)の交付を行い、家庭・集団でのリサイクルを推進した。 家庭系ごみ組成調査を実施し、生ごみ・紙類が多く含まれていることを再確認した。 平成30年度におけるリサイクル率は、22.4%となっており、一般廃棄物処理基本計画(H28-32)の中間目標値27.3%を達成していない。 												
課題・問題点等(C)	ごみ総搬出量は、環境資源ギャラリー家庭系搬入量は、平成30年度増加し、リサイクル率も減少した。												
今後の方向性(A)	リサイクル率が、減少し平成30年度中間目標値(一般廃棄物処理基本計画H28-32)を達成していないことから、引き続きごみ減量施策を実施するなか、リサイクル推進に力を入れていく必要がある。 平成30年度から実施している雑がみ回収を推進していく。また、事業系ごみの減量・リサイクル推進のため事業所への説明会を実施する。												

3. 基本事業

事業名(中分類)	循環型社会環境学習推進事業		予算事業番号 (予算事業名)	4.1.9.104022(環境美化推進費)									
事業概要	資源を有効に利用する循環型のまちをを目指すため、説明会や講座などを実施しごみ減量・3R推進の意識の高揚を図ることを目的として実施している。												
取組内容・結果等(D)	<ul style="list-style-type: none"> 出前講座を10回実施(内おし掛け5回)した。また、市内全校となる10校(牧之原小を含む)の小学生4年生において環境資源ギャラリー見学を行った。 環境だよりを年3回(ごみ減量・3R推進関係・雑がみ・ごみ組成)全戸配布し意識の高揚を図った。 3Rチェックシートを出前行政講座等で配布し実施した。 												
課題・問題点等(C)	おし掛け出前講において、開催数・出席者数が減少傾向となっている。												
今後の方向性(A)	引き続き出前講座(おし掛け含む)を実施するなかで、出席者(特にごみ出し・炊事者)が増えるように啓発していく必要がある。また、環境だより発行等について、計画的に実施するなかで、ごみ減量・3R推進への関心を持つような内容を検討する必要がある。												

施策を構成する事業評価

No.	40	担当課	農林課
-----	----	-----	-----

1. 施策名

基本目標	4	快適な環境で安心して暮らせるまち【防災・環境・社会資本整備】
政策名	4	豊かな自然や住みよい環境を未来へつなぐまちづくり
施策名	1	地球温暖化対策・自然環境の保全を推進します

2. 重点事業

事業名(中分類)	なし		予算事業番号 (予算事業名)									
事業指標	現状値 (H27(2015))	実績値									目標値 37年度	達成 状況(%)
		29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	35年度	36年度	37年度		
事業概要												
取組内容・結果等(D)												
課題・問題点等(C)												
今後の方向性(A)												

3. 基本事業

事業名(中分類)	緑化推進事業	予算事業番号 (予算事業名)	6.3.2.106039(緑化推進活動費) 6.3.2.106857(緑化推進総務費)
事業概要	緑化推進協議会や花の会、グリーンバンク事業の活動を通じて市内の緑化活動を推進する。		
取組内容・結果等(D)	緑化推進協議会: 記念樹の配布、卒業・入学祝い花苗の配布、きらりと輝く花大写真展の実施など 花の会: 菊花展、市役所敷地内等の花壇の管理、市民対象の寄せ植え教室の実施など グリーンバンク事業: 種子、球根の配布など		
課題・問題点等(C)	より多くの人に緑化活動に興味をもってもらえるよう、既存事業の見直しや新規事業の検討を行っていく必要がある。		
今後の方向性(A)	・引き続き緑化推進協議会や花の会等による事業を実施する。 ・緑化推進協議会では若い世代に興味をもってもらうため、平成31年度の「きらりと輝く花大写真展」にNextGeneration部門を新設する。		

事業名(中分類)	桜の名所保護・保存事業	予算事業番号 (予算事業名)	6.3.2.106039(緑化推進活動費)
事業概要	市内の桜の名所である火剣山、横地城跡、上平川桜並木等の桜の保存事業を実施する。		
取組内容・結果等(D)	上記箇所において保存事業(枝剪定、病害虫防除等)を実施した。		
課題・問題点等(C)	良好な景観を維持していくため、今後も保存事業を実施していく必要がある。		
今後の方向性(A)	引き続き保存事業を実施していく。		

事業管理シート(施策)

基本目標	4	快適な環境で安心して暮らせるまち【防災・環境・社会資本整備】
政策名	4	豊かな自然や住みよい環境を未来へつなぐまちづくり
施策名	1	地球温暖化対策・自然環境の保全を推進します

事業名(中分類)	森の力再生事業	予算事業番号 (予算事業名)	6.3.1.106059(有害鳥獣対策総務費)
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・森の力再生事業(県事業)により、水源涵養や土砂災害の防止等、森の機能を失いつつある森林の再生を図る。 ・鳥獣による農作物等への被害防止のため、有害鳥獣の捕獲等を行う。 ・鳥獣の保護(野鳥の無許可捕獲及び飼養の指導・取締り等)を実施する。 		
取組内容・結果等(D)	<ul style="list-style-type: none"> ・森の力再生事業により12.69haの整備を実施した。 ・小笠猟友会菊川3班に菊川地域の有害鳥獣の捕獲業務を委託した。 ・年2回、野鳥の無許可捕獲及び飼養の指導・取締りを実施した。 		
課題・問題点等(C)	<ul style="list-style-type: none"> ・平成31年度から森林環境譲与税が配分されるため、活用方法を検討する必要がある。 ・有害鳥獣(イノシシ)の生息地域が拡大しており、小笠地域でも被害が増えている。 		
今後の方向性(A)	<ul style="list-style-type: none"> ・森林環境譲与税を活用し、森林整備を進めていく。 ・平成31年度から小笠猟友会小笠4班に小笠地域の有害鳥獣の捕獲業務を委託する。 ・鳥獣被害対策実施隊の設置に向けた検討を進めていく。 		

事業名(中分類)	森林整備計画の適正な進行管理	予算事業番号 (予算事業名)	6.3.1.106856(林業振興総務費) 6.3.1.106037(松くい虫防除事業費)
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・伐採、造林、間伐、保育その他森林の整備に関する事項の基本方針を定めた菊川市森林整備計画に基づき森林の適正な管理を行う。 		
取組内容・結果等(D)	<ul style="list-style-type: none"> ・菊川市森林整備計画に基づき森林の適正な管理を行った。 ・全国森林計画及び天竜地域森林計画の修正に合わせ、菊川市森林整備計画を変更した。 ・丹野池の松くい虫防除事業を実施した。 		
課題・問題点等(C)	<ul style="list-style-type: none"> ・菊川市森林整備計画の上位計画である全国森林計画、天竜地域森林計画の修正が行われることがあるため、修正の有無を確実に把握しておく必要がある。 		
今後の方向性(A)	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き菊川市森林整備計画に基づき森林の適正な管理を行う。 		

施策を構成する事業評価

No.	41	担当課	下水道課
-----	----	-----	------

1. 施策名

基本目標	4	快適な環境で安心して暮らせるまち【防災・環境・社会資本整備】
政策名	4	豊かな自然や住みよい環境を未来へつなぐまちづくり
施策名	2	水質浄化・生活環境の改善を進めます

2. 重点事業

事業名(中分類)	合併浄化槽設置推進事業		予算事業番号 (予算事業名)	4.1.9.104026(浄化槽設置事業費)									
事業指標	合併浄化槽により生活排水を処理している人の割合	現状値 (H27(2015))	実績値									目標値 37年度	達成 状況(%)
		38.9%	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	35年度	36年度	37年度	53.1%	
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・浄化槽設置事業費補助金交付要綱に則り、浄化槽設置者に対し、補助金を交付する。 ・「浄化槽設置事業費補助制度」を広く市民に知っていただくためのPRを行い、単独浄化槽及びびくみ取り便所から合併浄化槽への付け替えを促進し、水質浄化・生活環境の改善を図る。 												
取組内容・結果等(D)	<ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度は140基に対し補助金を交付した。このうち単独浄化槽及びびくみ取り便所から合併浄化槽への付け替えは「26基」であった。 ・補助制度のPRは、「広報菊川」に補助制度を掲載、「付け替えを行った人の声」を掲載したチラシを作成、「市内浄化槽業者2社によるチラシ配布」を行った。 ・単独浄化槽及びびくみ取り便所から合併浄化槽への付け替え率は、前年度から3.9%減の18.6%となったが、補助制度改正前の平成28年度と比較すると12.2%増となった。 												
課題・問題点等(C)	<ul style="list-style-type: none"> ・次年度に現行の補助制度が最終年度となることを広報などで広く周知し、補助制度を活用していただく必要がある。 ・補助制度の見直しを行い新たな補助制度を策定し、市民へ周知する必要がある。 												
今後の方向性(A)	<ul style="list-style-type: none"> ・次年度に現行の補助制度が最終年度となることを広報などで広く周知し、単独浄化槽及びびくみ取り便所から合併浄化槽への付け替えを推進し、浄化槽設置割合の増加を図る。 												

3. 基本事業

事業名(中分類)	生活排水処理基本計画作成事業		予算事業番号 (予算事業名)	なし									
事業概要	生活排水処理基本計画の目標値である「水洗化・生活排水処理率」の算定基礎となる「下水道接続人口」及び「浄化槽人口」の管理を行う。												
取組内容・結果等(D)	<ul style="list-style-type: none"> ・下水道接続人口は、排水設備申請に基づき、毎月水洗化人口を算出。 ・浄化槽人口は、浄化槽設置届に基づき、毎年人口を算出。 ・このデータを基に「水洗化・生活排水処理率」の算出を行い、前年度から2.3%増の66.9%となった。 												
課題・問題点等(C)	年々、処理率は向上しているが、目標数値を達成するためには下水道への接続及び浄化槽補助制度活用の促進を図る必要がある。												
今後の方向性(A)	経営戦略に基づき計画的な面整備推進による供用開始区域の拡大及び単独浄化槽及びびくみ取り便所から合併浄化槽への付け替えを推進していく。												

事業名(中分類)	公共下水道整備事業		予算事業番号 (予算事業名)										
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・社会資本整備総合交付金の国庫補助を受けて、第3期及び第4期の下水道事業認可区域内の管渠整備を行う。 ・土地の分筆等により土地利用が、変更となった箇所公共樹を設置する。 												
取組内容・結果等(D)	<ul style="list-style-type: none"> ・第3期事業認可区域内の柳地区の一部、第4期事業認可区域内の堀之内・半済・加茂地区の一部の管渠整備を実施し、新たに約7.3haを供用開始した。 ・第4期事業認可区域内の堀之内・半済・加茂地区の管渠実施設計を行い、来年度以降の管渠整備に備えた。 ・柳・本所・半済・加茂・月岡地区において、土地利用の変更に伴い新たに取付管及び公共樹を16箇所設置した。 ・下水道総合地震対策計画に基づき、マンホール浮上対策工事を実施した。 ・下水道の普及促進を図るため、本所地内にマンホールポンプを1箇所設置した。 												
課題・問題点等(C)	下水道事業については、国から2026年度までの10年概成(概ね完成すること)が示されている。												
今後の方向性(A)	第4期事業計画及び経営戦略による計画的な管渠整備を実施し、下水道普及率を向上させる。												

事業管理シート(施策)

基本目標	4	快適な環境で安心して暮らせるまち【防災・環境・社会資本整備】
政策名	4	豊かな自然や住みよい環境を未来へつなぐまちづくり
施策名	2	水質浄化・生活環境の改善を進めます

事業名(中分類)	生活排水対策の推進・啓発事業	予算事業番号 (予算事業名)	4.1.9.104855(環境衛生総務費(下水道課))
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・1月から12月の間に浄化槽を設置した方を対象に、浄化槽の維持管理(定期点検・清掃・法定検査等)についての講習会を開催する。 ・広報紙やHPにより、生活排水処理に関する情報を発信する。 		
取組内容・結果等(D)	<ul style="list-style-type: none"> ・平成30年1月から12月までに浄化槽を設置した158名に対し、浄化槽管理講習会を開始(出席者:53名)し、「浄化槽の仕組みと浄化槽法の概要」及び「浄化槽法定検査」について説明を行った。 ・広報紙やHPによる情報発信及び生活環境フェスタにおいて「水質浄化・生活環境の改善」に関するPRを行った。 		
課題・問題点等(C)	<ul style="list-style-type: none"> ・浄化槽の「定期点検」及び「清掃」の実施率は高いが、定期点検及び清掃が適正に行われているかを検査する「法定検査」の受検率が低くなっている。 ・単独浄化槽及びびくみ取り便所から合併浄化槽への付け替えを願ひし、水質浄化・生活環境の改善の意識の向上を図る必要がある。 		
今後の方向性(A)	<ul style="list-style-type: none"> ・県が法定検査の受検率を向上させるためのチラシ配布しており、市にも問い合わせがあることから、検査の必要性を訴え、受検率の向上に繋げていく。 ・広報紙やHP、生活環境フェスタだけでなく、報道各社にも情報提供を行い、水質浄化・生活環境の改善の意識付けを行っていく。 		

施策を構成する事業評価

No.	41	担当課	下水道課
-----	----	-----	------

1. 施策名

基本目標	4	快適な環境で安心して暮らせるまち【防災・環境・社会資本整備】
政策名	4	豊かな自然や住みよい環境を未来へつなぐまちづくり
施策名	4	適正な汚水処理施設の管理・運営を進めます

2. 重点事業

事業名(中分類)	なし		予算事業番号 (予算事業名)									
事業指標	現状値 (H27(2015))	実績値									目標値 37年度	達成 状況(%)
		29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	35年度	36年度	37年度		
事業概要												
取組内容・結果等(D)												
課題・問題点等(C)												
今後の方向性(A)												

3. 基本事業

事業名(中分類)	下水道長寿命化対策事業		予算事業番号 (予算事業名)									
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・下水道施設を長期に亘り適切に維持管理をしていく上で、重要となる施設台帳を整備し運用する。 ・ストックマネジメント計画を策定し下水道施設の更新等を計画的に実施していく。 											
取組内容・結果等(D)	<ul style="list-style-type: none"> ・平成29年度に整備した管渠及び処理場施設の修繕履歴を施設台帳へ整備した。 ・ストックマネジメント基本計画を策定した。 											
課題・問題点等(C)	<ul style="list-style-type: none"> ・整備した施設台帳を運用出来ていない。 ・ストックマネジメント実施計画を策定する必要がある。 											
今後の方向性(A)	<ul style="list-style-type: none"> ・整備した施設台帳を活かし、施設の適切な維持管理計画を策定する。 ・ストックマネジメント実施計画を策定する。 											

事業名(中分類)	下水道総合地震対策事業		予算事業番号 (予算事業名)									
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・大規模地震等の災害時に対して、業務が滞ることなく継続できる計画を立てる。 ・今後発生する見込みが高い南海トラフを震源とする巨大地震に対して、下水道総合地震対策計画に基づき事業を実施していく。 											
取組内容・結果等(D)	<ul style="list-style-type: none"> ・総合防災訓練及び地域防災訓練時に、下水道BCPを基に訓練を実施し、BCP内容を検証した。 ・総合地震対策計画に基づき、緊急輸送路下にあるマンホールで、液状化により浮上する恐れのあるマンホールについて対策工事を実施した。 											
課題・問題点等(C)	<ul style="list-style-type: none"> ・大規模地震等の災害時に対応できる職員数も限られており、現実に対応できる内容にBCPを見直す必要がある。 ・耐震対策が実施されていない管渠及びマンホールについて対策計画を策定する必要がある。 											
今後の方向性(A)	<ul style="list-style-type: none"> ・下水道BCPを見直す。 ・耐震対策が実施されていない管渠及びマンホールについて対策計画を策定する。 											

事業管理シート(施策)

基本目標	4	快適な環境で安心して暮らせるまち【防災・環境・社会資本整備】
政策名	4	豊かな自然や住みよい環境を未来へつなぐまちづくり
施策名	4	適正な污水処理施設の管理・運営を進めます

事業名(中分類)	下水処理場の適正な維持管理	予算事業番号 (予算事業名)	4.2.4.104045(平尾下水処理場管理費)
事業概要	・持続可能な下水処理を維持継続するため、菊川浄化センター(処理場)及び下水道管渠、平尾下水処理場の適正な維持管理を行う。		
取組内容・結果等(D)	・菊川浄化センターの維持管理業務については、3年間の包括的民間委託をしている業者から汚水処理の管理状況報告を定期的に受け、確認を行った。また、水処理設備の定期点検を実施した。 ・下水道管渠については、供用開始3年目となる重要な幹線のマンホール点検を実施した。 ・平尾下水処理場については、維持管理業務委託を発注し、委託業者から汚水処理の管理状況報告を定期的に受け、確認を行った。		
課題・問題点等(C)	・菊川浄化センター及び平尾下水処理場の維持管理業務について、業者へ委託はしているが、管理者に指示及び監督できる人材が必要である。 ・下水道施設について、老朽化が進んでおり、早期に修繕及び更新を要する施設が多数ある。 ・下水道管渠について、マンホール点検だけでなく管渠の点検も定期的の実施していく必要がある。		
今後の方向性(A)	・処理場の維持管理業務に関する研修会等へ積極的に参加し、知識を習得に努める。 ・下水道施設について、適切な修繕及び更新を行う。 ・下水道管渠について、点検計画を策定し適切な維持管理に努める。		

事業名(中分類)	経営戦略策定事業	予算事業番号 (予算事業名)	
事業概要	安全で快適な下水道サービスを持続的・安定的に提供するため、効率化・健全化に取り組み、投資と財源を均衡させ、現状と将来見通しを踏まえた「経営戦略」を策定した。		
取組内容・結果等(D)	将来にわたって安定的な下水道事業を継続するための中長期的な経営の基本計画である「経営戦略」を策定した。		
課題・問題点等(C)	事業計画で位置付けられた汚水処理区域429haを計画的に拡大する必要がある。 供用開始(2004年度末)から14年が経過し、処理場やマンホールポンプの機械・電気設備等の老朽化対策が必要である。 人口減少や節水機器の普及が進み、使用料収入に影響することが懸念される。		
今後の方向性(A)	策定した経営戦略に基づき、計画的かつ効率的な事業運営を推進していく。		

事業名(中分類)	接続促進事業	予算事業番号 (予算事業名)	
事業概要	・当年度に面整備を行った区域へ接続促進施策に関する説明会の実施。 ・供用開始1・2年目未接続世帯に対し、早期接続依頼通知の発送及び戸別訪問を行い、早期接続のお願いをする。 ・広報やHPに早期接続依頼及び生活環境の改善等に関する情報を掲載し、早期接続をお願いする。 ・下水道事業計画区域自治会に下水道に関する情報を掲載した「下水道新聞」配布する。		
取組内容・結果等(D)	・工事及び供用開始説明会において「早期接続促進施策」についての説明を行った。 ・広報紙及びHPに早期接続依頼、生活環境の改善等について掲載した。 ・供用開始1・2年目未接続世帯に対し、戸別訪問を行い、早期接続のお願いをした。 ・下水道事業計画区域内自治会に下水道新聞を配布した。 これらの取り組みにより、平成30年度末の接続戸数が前年度に比べ161戸増の2,960戸となった。		
課題・問題点等(C)	・戸別訪問等により早期接続をお願いしているが、各家庭の事情により、近年の供用開始1年目の接続率が低い傾向にある。 ・接続率を向上させるためには、供用開始1・2年目だけでなく、3年目以降の未接続世帯の早期接続が必要不可欠である。		
今後の方向性(A)	・今後は、接続促進事業及び供用開始3年目以降での接続率の低い自治会への戸別訪問を継続的に行い、早期接続をお願いし、接続率の向上を図る。		